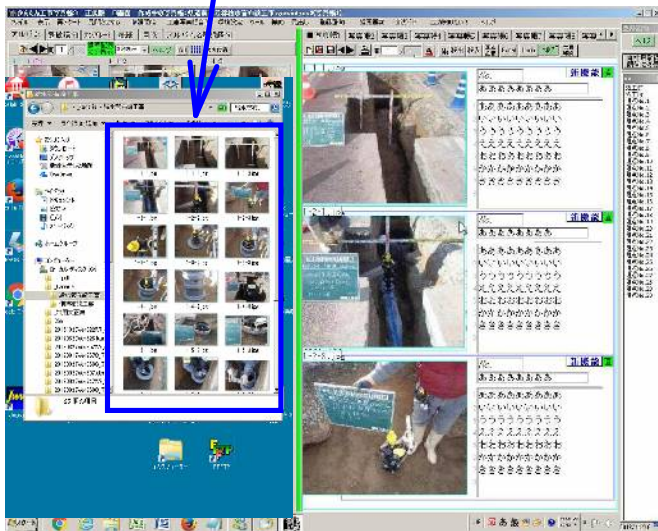


どの写真を工事写真帳に貼り付けるべきかの判断が素早くできます。

<理由 1>

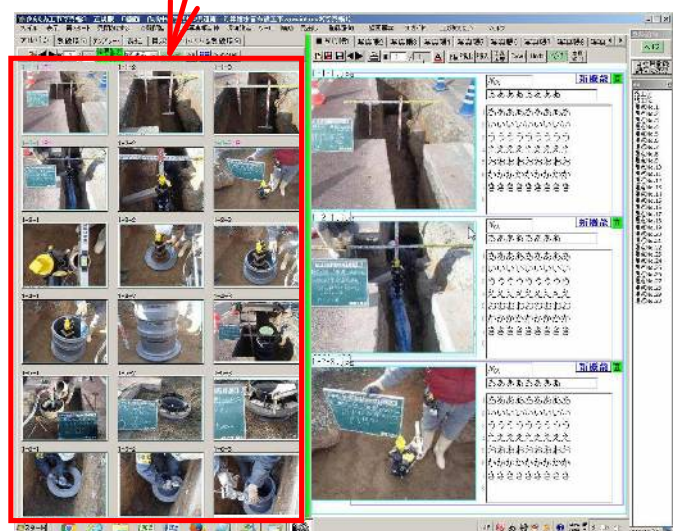
他社ソフトの多くは、エクスプローラを使って、写真を一覧表示しています。

この場合には、このように写真一覧表示エリアが小さい。



それに対しては、本ソフトでは専用の<写真一覧表示>サブ画面で写真を一覧表示しているので、

このように写真一覧表示エリアが広い。



<理由 2>

本ソフトでは、<写真一覧表示>サブ画面の列数を1～9列に変えられます。それによって、個々の写真は小さいが表示数を多くするか、それとも表示数は少ないが個々の写真の大きさを大きくするかが簡単に変わります。

2列表示の場合



3列表示の場合



5列表示の場合



<理由 3>

一覧表示された各写真を右クリックすると、その写真が拡大表示されますので、その写真がどのような写真か正確に分かります。
マウスを少し動かすだけで、拡大表示状態が解除されます。

<理由 4 - 1>

“標準配列にて表示”モード

の場合、写真を工事写真帳に貼り付けると、このように、その写真の上に表示されているファイル名が空色になり、且つその横に工事写真帳のどこにその写真が貼り付けられたかの情報が赤紫色で表示されます。

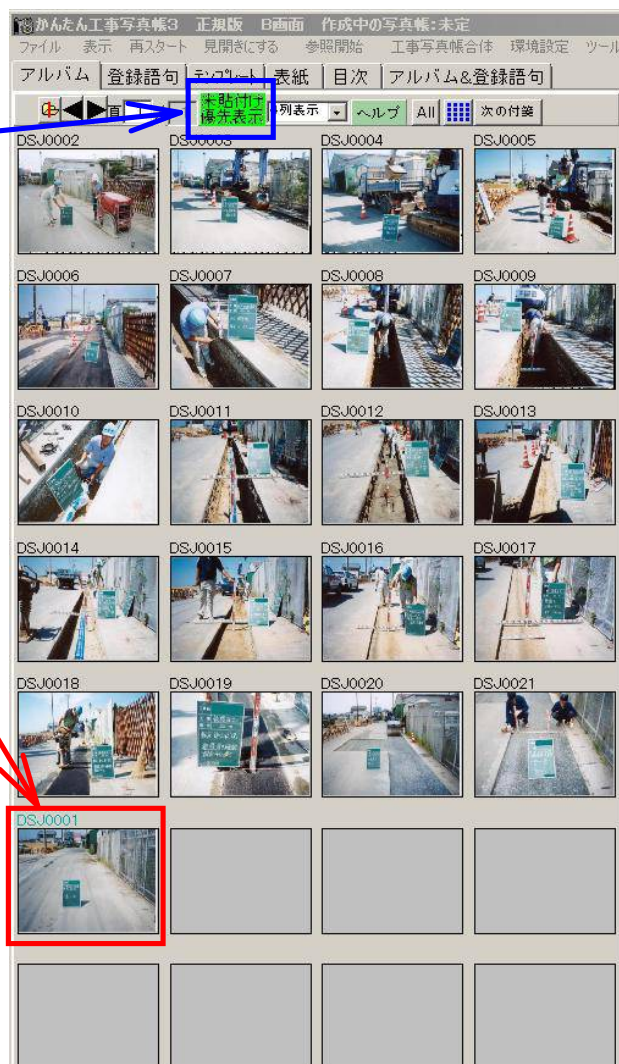


<理由 4 - 2>

“未貼り付け優先表示”モード

に切り替えた場合は、写真を工事写真帳に貼り付けると、

このように、その写真のファイル名が空色になるだけでなく、表示位置も最後の方に移ります。



<理由5>

写真数が多い場合や、列数を少なくしてすべての写真が写真一覧表示エリアに表示し切れなくなった場合には、複数ページに亘って写真が一覧表示されます。

この場合のページ変更は、**ここ**で行います。

ページジャンプしたい場合は、**ここ**をクリックし、表示された画面でジャンプ先のページを指定します。

